

地震発生時の対応について(お知らせ)

陽春の候、皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、最近も震度4クラスの地震が連続して発生しています。平成23年東日本大震災、平成28年の熊本地震、そしてお正月に発生した能登半島地震も、私たち三原市に住む者にとっても全く他人ごとではありません。四国沖を震源とする南海地震は、昭和21年発生の際にはその規模が比較的小さかったために、三原市では被害も少なかったようですが、現在、南海トラフを震源とする巨大地震の想定では、三原市で最大震度6強、最大3mを超える津波が想定されています。

つきましては、**地震が発生した場合には、生徒の安全確保を最優先し、次のとおり対応いたします。**よって、災害等の状況によっては、**生徒を学校に待機させ保護者等に迎え**に来ていただくこととなりますので、ご理解とご協力をお願いします。

また非常災害は、いつ起きるかわかりません。家族で様々な状況を想定して避難場所等を話し合ってくださいますようお願いいたします。

【生徒が在学中でない場合の対応】

◎三原市において「震度5弱」以上の地震が発生した場合は以下の対応をする。

- ・ 17時から24時までに発生した場合には、翌日を臨時休校とする。
- ・ 0時から8時30分までに発生した場合は、当日を臨時休校とする。

【生徒が在学中の対応】

◎授業を打ち切り、速やかに生徒を下校させる場合があります。

- ・ 三原市内で震度5弱以上の強い地震が発生したが、液状化や近隣の建物に大きな損壊が見られず、大津波警報も発令されていないが、早めに下校することが安全上望ましいと判断した場合。
 - ※ できる限りメールで連絡させていただきます。
 - ※ 安全な帰宅が困難と思われる生徒については、お迎えをお願いすることとなります。
 - ※ 建物の損壊等により自宅待機が難しい時には、学校に戻ってくるように指示し下校させます。

◎生徒を安全に帰宅させることが難しいと判断した場合、生徒を一旦学校に待機させます。保護者等でお迎えをお願いいたします。

- ・ 三原市内で震度6以上の地震が発生又はそれ以下の震度でも規模の大きい液状化や近隣の建物の損壊が見られたり、大津波警報が発令された場合。
 - ※ メールでの連絡をさせていただきますが、連絡が難しい状況になる可能性もあります。その場合は、状況をご判断いただき可能な範囲でご来校いただければ幸いです。
 - ※ 状況が改善され次第原則下校させますが、夜遅くなった場合等、安全な帰宅が困難と思われる場合は、そのまま学校に待機させ保護者等の来校を待ちます。
 - ※ 生徒引渡しの際には、引受人、引渡し時刻等を確認し記録しますので、お手数ですが学校で準備する確認票に必要事項の記入やご署名をお願いすることとなります。